

第6期 福岡市男女共同参画審議会（第3回）議事録

1. 開催日時 平成27年7月6日（月）14:00～15:15
2. 場 所 福岡市役所 1504会議室（15階）
3. 出席者（出席委員 17名）
相原委員、岡崎委員、緒方委員、甲斐委員、雁瀬委員、坂田委員、
鈴木委員、藤委員、中村委員、錦谷委員、原委員、久留委員、
日高委員、藤井委員、星乃委員、前田委員、増川委員
（欠席委員 1名）
石川委員
（福岡市 6名）
市民局長 外5名
4. 傍聴人 なし
5. 議 題（1）女性労働実態調査の結果について（報告）
（2）男女共同参画基本計画（第2次）の進行管理について
（3）男女共同参画基本計画（第3次）の策定について
6. 議事概要（○…委員 △…事務局）

【議題1 女性労働実態調査の結果について（報告）】

△ <福岡市女性労働実態調査概要版により、説明>

（質問、意見なし）

【議題2 男女共同参画基本計画（第2次）の進行管理について】

△ <資料1により、進行管理の方法及び重点評価項目の26年度実施状況について

説明＞

○ 12ページの、3の施策の実施状況にある、留守家庭子ども会事業について、長期休業中の時間拡大をして開始時刻が8時半から8時になったのは、今年度か。

△ 今年度の夏休みからである。

○ 14ページの市の政策・方針決定過程への女性の参画促進で、事前調整において、局長が行ったところはあるか。

△ 機会があればぜひ行きたいと思っており、各局・区長には宣言をしているが、各局ともいろいろ努力しており、結果的には目標数値まではいかなかったものの、局長が行くまでの案件はなかった。

△ 努力の跡は結構見えてきているが、充て職などもまだまだ残っており、なかなか進まないところもある。その辺をどう崩していくかが課題だと認識している。

○ 充て職は崩せないのか。

△ 法律で決まっているものもあり、それはどうしようもないので、他のところで女性の参画を増やしていくということになると思う。

△ 今、各局では、各団体に委員の推薦依頼をするときに、女性をぜひお願いしますというようなことも書いており、かなり工夫はしている。ただ、今、話したように、どうしてもできない部分があり、理由が納得できるものが多い。

【議題3 男女共同参画基本計画（第3次）の策定について】

＜資料3、資料4により、男女共同参画基本計画（第3次）（案）の概要及び今後のスケジュールについて説明＞

○ 第2次計画は、男女共同参画週間など、幾つかの特徴が出ていると思う。それに比べ

て、第3次計画の案は、福岡市は今回これをやっていくんだというところが弱い感じがする。特に202030の問題や女性の活躍などは国の施策であり、それはそれでいいと思うし、積極的に取り組まなければならないが、市として何に取り組んでいくのかというカラーを出したほうがいいと思う。

市は小まめなところまで目がいくという点でも、経済的に恵まれない女性たちに対するケア、サポートをすることが施策のひとつの目玉になると思う。

- 新規で、「様々な困難な状況に置かれた女性等への支援」と打ち出しているが、そこに高齢、障がい、貧困等により困難を抱えた女性の支援をとると、高齢者の女性は大変だよ、障がいを持っている人も大変だよと論点が拡散すると思う。新規で打ち出すなら、もう少し明確にしたほうがいいと思う。

△ 国や県でも次期計画策定に向けた審議が行われているところであり、市の男女共同参画基本計画は、国や県の計画を踏まえることとなっている。国や県の動きも見ながら、福岡市として何か目玉になるようなものを、考えていきたいと思っているので、意見をいただきたい。

- 福岡市の合計特殊出生率は全国を下回っている。福岡市は独身の女性が多いので、出生率を上げるような施策を盛り込むことはできないか。

- 少子化対策や特殊出生率を上げることは、ワーク・ライフ・バランスなどいろいろなことに絡んできて、女性の生き方ということでは、福岡市も特徴としては捉えるべきではないかなと思う。

△ 女性が、結婚や出産を機に仕事を辞めたり、働き続けることができないのは、長時間労働の問題が大きいと思っている。今後もワーク・ライフ・バランスの推進に力を入れていきたいし、多様な働き方を女性が選べるように取り組んでいきたい。

また、今後の女性活躍推進法や、国、県の男女計画がどうなっていくのかも見ながら考えたい。

△ 5年ほど前に聞いた話ではあるが、女性は大学にいるときはとても輝いていて将来の希望を持っているのに、就職した途端すごく元気がなくなり、逆に男子大学生のほうが就職したら輝いてくるという現状もあるとのこと。福岡は女性が多いので、そのミス

マッチをいかになくしていくかが大変大事な視点ではないか。そのことが結果として、いろいろな場面での女性の活躍につながるのかなと思う。

第2次計画策定の時も、そのような議論があったと思う。そういった点も含めて、市民の皆さんに一番近い基礎自治体として、福岡市ならではの特徴も生かしながら、どうやったらもっと男女共同参画が進むのか、委員のみなさんと考えていきたいと思う。